

令和元事業年度

決算報告書

自：平成31年4月1日

至：令和2年3月31日

国立大学法人島根大学

令和元年度 決算報告書

国立大学法人 島根大学

(単位:百万円)

| 区 分 | 予 算 額 | 決 算 額 | 差 額 (決算-予算) | 備 考 |
|---------------------|--------|--------|----------------|-------|
| 収入 | | | | |
| 運営費交付金 | 10,218 | 10,696 | 478 | (注1) |
| 施設整備費補助金 | 1,274 | 949 | △ 324 | (注2) |
| 船舶建造費補助金 | — | — | — | |
| 補助金等収入 | 785 | 861 | 76 | (注3) |
| 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金 | 35 | 35 | — | |
| 自己収入 | 22,961 | 23,903 | 942 | |
| 授業料、入学料及び検定料収入 | 3,423 | 3,285 | △ 137 | (注4) |
| 附属病院収入 | 19,144 | 20,059 | 915 | (注5) |
| 財産処分収入 | — | — | — | |
| 雑収入 | 394 | 559 | 164 | (注6) |
| 産学連携等研究収入及び寄附金収入等 | 1,717 | 1,656 | △ 60 | (注7) |
| 引当金取崩 | — | — | — | |
| 長期借入金収入 | — | — | — | |
| 貸付回収金 | — | — | — | |
| 目的積立金取崩 | — | 76 | 76 | (注8) |
| 計 | 36,988 | 38,176 | 1,188 | |
| 支出 | | | | |
| 業務費 | 31,822 | 32,928 | 1,105 | |
| 教育研究経費 | 13,899 | 14,264 | 364 | (注9) |
| 診療経費 | 17,923 | 18,664 | 741 | (注10) |
| 施設整備費 | 1,309 | 984 | △ 324 | (注11) |
| 船舶建造費 | — | — | — | |
| 補助金等 | 785 | 861 | 76 | (注12) |
| 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等 | 1,717 | 1,406 | △ 310 | (注13) |
| 貸付金 | — | — | — | |
| 長期借入金償還金 | 1,356 | 1,349 | △ 7 | (注14) |
| 大学改革支援・学位授与機構施設費納付金 | — | — | — | |
| 計 | 36,988 | 37,528 | 540 | |
| 収入-支出 | — | 648 | 648 | |

※記載金額については、百万円未満を四捨五入して表示しているため、合計があわない場合があります。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、退職手当及び年俸制導入促進費の追加交付並びに補正予算の措置により、予算額に比して決算額が478百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、事業計画を変更したことにより、予算額に比して決算額が324百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階で予定していなかった補助金等の交付があったため、予算額に比して決算額が76百万円多額となっております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、予算段階との人数の差異等により、予算額に比して決算額が137百万円少額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、手術症例数及び高額医薬品を用いた診療件数の増加により診療単価が増加したこと、外来患者数が増加したことにより、予算額に比して決算額が915百万円多額となっております。
- (注6) 雑収入については、心理臨床相談料収入の増加、科学研究費補助金間接経費の獲得等により、予算額に比して決算額が164百万円多額となっております。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究費等の受入額の減少により、予算額に比して決算額が60百万円少額となっております。
- (注8) 目的積立金取崩については、総合研究棟改修事業に伴い目的積立金を予算化したため、予算額に比して決算額が76百万円多額となっております。
- (注9) 教育研究経費については、人件費及び退職手当の増加等により、予算額に比して決算額が364百万円多額となっております。
- (注10) 診療経費については、患者数の増加等により、予算額に比して決算額が741百万円多額となっております。
- (注11) 施設整備費については、(注2)に記した理由により、予算額に比して決算額が324百万円少額となっております。
- (注12) 補助金等については、(注3)に記した理由により、予算額に比して決算額が76百万円多額となっております。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、次年度への繰越等により、予算額に比して決算額が310百万円少額となっております。
- (注14) 長期借入金償還金については、借入金利率の変更等により、予算額に比して決算額が7百万円少額となっております。